

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	里山農業暮らしのための若者・農家を結ぶ地域ネットワーク形成をつうじた、移住および荒廃地再生の促進
事業主体 (連絡先)	NPO 法人食と農のまちづくりネットワーク (上田市中心 0268-71-5355)
事業区分	(6)イ 農業振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,050,445 円 (うち支援金: 1,473,000 円)



事業内容

1. 移住者と地域住民と一緒に参加する有機的で循環型農業の講座
2. 実践ワークショップ
 - ① はじめての田んぼワークショップ
 - ① 自然農塾
 - ② エゴマ油の自給ワークショップ
 - ③ 竹林整備、竹の活用ワークショップ
 - ④ 保存食ワークショップ
 - ⑤ 薬草ワークショップ
 - ⑥ 里山健康親子教室
3. 地域及び都市部での情報発信



【田んぼの苗作りの様子】

【目標・ねらい】

- ① 農ある里山暮らしの実践拠点の機材整備
- ② 農ある里山暮らしのワークショップを通じた地域ネットワークの形成
- ③ 農ある里山暮らしのできる地域の魅力の発信と移住者の受け入れ

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 里山での循環型農業のワークショップのための拠点を整備し、ワークショップを計37回開催し、のべ491名の参加者があった。
2. 休耕地をあらたに800坪整備しエゴマを栽培した。また、地域の方々にもエゴマ栽培を普及し、計量できないが個人単位で獣の食害により休耕していた農地の再生を促進した。また、エゴマ油を別所温泉と商品化することもできた。
3. 新規就農者との地域での交流会を行うとともに、就農や移住促進のパンフレットを300部作成し、東京で農的暮らしを発信するイベントを行って配布した。

※自己評価【B】

【理由】循環型の里山農業拠点を活用した講座、ワークショップが開催できたづくりができ、県内外に移住促進の情報発信をおこなうことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

里山の循環型農業拠点を活用したイベントの実施やこれまで行なってきたワークショップの継続を行い、里山の循環型の暮らしを発信し、若者や移住者に信州の魅力を伝える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある